



10月7日名寄市で開かれた大会で、ベンチ97・5^キ、スクワット150^キ、デットリフト180^キ合計427・5^キの北海道新記録を達成し、初優勝を飾りました。

同時に体重と記録の比率を算出した「フォーミュラ」でも、74^キ級以下の軽量級に出場した



第15回ノーギア北海道パワーリフティング選手権大会59級で優勝

小野雅史さん(34歳・虻6区)

中で最高値となり、金メダルを受賞しました。

「自己ベストで優勝できてうれしい」と3回目の挑戦で初めて勝ち取った頂点に喜びを隠せません。

「体を大きくしたかった」という気軽な気持ちで始めて4年目。仕事と両立させながらの地道な練習が、大きな花を咲かせました。

次の目標は、来年秋に開かれる予定の全日本選手権。

指導する川越和彦・小牧バワリフティング協会洞爺湖支部長は「全国大会を経験して今後に生かしてほしい。ベスト3も夢ではない」とその実力に期待をかけます。

「自分の力が結果の数字ではつきり表れるのが魅力。やればそれだけ記録が伸びるのが楽しくてしょうがない」と自分への限界に挑戦し続けます。

社会を明るくする標語

洞爺湖町合同補導委員会が、虻田地区の各小、中、高等学校で「社会を明るくする標語」を募集し、各学校ごとの優秀作品が決定しましたので、紹介します。

虻田小学校

あいさつは みんなをえがおへ かえるんだ
すれちがう 人にあいさつ 気持ちいい
悪いこと? 僕の心に 問いかけよう

洞爺湖温泉小学校

あいさつで みんながにっこり いいえがお
あいさつは 友だちふやす おまじない
幸せに なる秘訣は ありがとう

虻田中学校

あいさつで 心のスイッチ 切り替わる
「大丈夫」 心の余裕が 生む危険
言っちゃダメ 自分も傷つく その言葉

洞爺湖温泉中学校

悩まない 一緒に歩こう いつまでも
自然には 心をいやす 力あり
挨拶を いつでもどこでも 笑顔でね

虻田高等学校

裏サイト 画面の奥は 深い闇
花いっぱい 思いも咲かそう この町に
あいさつは 交わせば広がる 絆の輪



1年 越前谷 裕輔
2年 野々村 英恵
3年 平塚 桃香

2年 篠原 梓
2年 武田 英孝
2年 干場 康佑

1年 沼田 実玖
2年 田仁 駿太郎
3年 佐野 大樹

1年 中村 風雅
4年 三浦 知咲歩
6年 竹澤 遥

2年 安倍 伶菜
3年 藤田 大輝
5年 木村 研太